

# 北海道稲門教育会会報

2018  
1. 10  
発行

「新年を迎えて」

北海道稲門教育会会長

小島 晶夫（札幌西高等学校長）



北海道稲門教育会の皆様、明けましておめでとうございます。

北海道稲門教育会の会長を務めて二年目となりました。引き続き、よろしくお願ひします。

さて、本会は、教育に情熱を傾ける校友どうしが、胸襟を開いて語り合う場を設けようと昭和五〇年代に組織されたのが始まりです。現在の主な活動は、年に二回（一月の高教研の初日と八月初旬の

夏季休業中）の研修会や懇親会の開催です。

その研修会ですが、平成二九年度の夏期研修会は、昨年（八月五日、同窓であり北海道電力企画本部企画部長の平池暁様を講師に、また、早稲田大学からは、地域コーディネーター研究院調査役（ナノ・ライフ創新研究機構担当）尾島浩幸様をご来賓にお招きして開催されました。平池様からは、「北海道経済の現状と今後」という演題でご講演をいただきましたが、「農業のICT化」や「観光でのビッグデータの活用」など北海道経済の将来像をお示しいただくとともに、開発型経済からの意識の脱却のために、中長期的な人材育成が必要不可欠であることをお話しいただきました。特に、これからの高校教育に対しては、開かれた学校づくりを推進すること、さらには地域とともに協力しながら地方創成に資する人材を大切に育てていくことへの期待が述べられました。

また、研修会後の懇親会では、尾島様

から母校の近況についてお話しを伺うことができました。現在、早稲田大学は、世界の教育、世界の研究をリードする「Waseda」をつくりあげるため、Best Education、Best Research、さらにBest Communityを旨として、世界スタンダードにおいてあらゆる分野で“the Best”の実現を目指しているとのこと。そして、関東の一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）以外の受験生に入学前予約給付型奨学金（「めざせ！都の西北奨学金」）を用意するなど、地方の優秀な生徒の入学を強く望んでいるとのことでした。このような母校の思いを受け、教育に携わる私達の力で、是非とも、都の西北を目指す生徒を育てたいものです。このことが、グローバルリーダーの輩出は勿論、地方から日本を支える「地方創成に資する人材」を輩出することにもつながるはずです。そして、さらに期待できるのは、北海道で教員となる交友が増えることです。近年、会員数の減少が課題となりつつある本会ですが、母校そして北海道教育のためには非とも力を合わせていきたいものです。

結びに、教員をはじめ、管理職や教育行政、教育関係企業で本会の会員が一層活躍し、先輩方が築いてこられた北海道稲門教育会がますます発展することを願ひ、年頭の挨拶とします。

「変わったような、変わらないような・・・」

北海道釧路湖陵高等学校長

橋本達也



今年で58歳になり、間もなく定年まで残り2年となります。全く自覚はなく、時が過ぎるといふのは恐ろしいことです。

数年前から、大学の同期や先輩諸氏の動向に変化が起き始めました。サークルを中心に、卒業後も付き合いのある人間のほとんどは民間企業で働いています。彼らの多くは定年を前にして大きな決断

を迫られるのですね。会社における自分の立場に早々に見切りをつけて起業する者、役員へのデッドヒートに挑戦して勝利する者と敗北する者。会社からの肩たたきを素直に受け入れて、ひっそりと余生を過ごす者。国内に仕事はなく、ひたすら海外で暮らし続け、退職によつて帰国した者。周囲の反対を押し切つて、奈良の住宅街の真ん中にジャズの店を始めただけ、予想以上に客が全く来ないと嘆く者。東京の再開発の流れの中で、長く続けてきた飲食店を閉じる者。e.t.c.。最近会った中で一番元気が良かったのは、30歳で会社を辞め、バックパッカーで世界を1年間放浪してから九州の実家の稼業を継いだ人でした。よくある話の通り、過去の経験捨てられない父親との葛藤を乗り越え、経営の実権を奪うと大きく方針転換したそうです。15年経って苦勞が実りはじめ、現在は、ナント月収350万円の生活をしているとのことでした。身近にはあり得ない金額に私の頭はクラクラし、行動を共にした三晩の飲み代をすべてゴチになりました。後になって冷静に考えたら、月収350万円といえども、年収にすると4200万。大企業の社長クラスの年収は、ゴ

ンさんでなくても億を超える時代だそうですし、プロ野球選手の年棒も含め、格差の実態は恐るべしですね。

先日、サークルのメンバーたちと久しぶりに集まる話になり、中には35年ぶりに再会した人も何人もいました。みんなから、「橋本が教員を、ましてや校長をやっているなんて、詐欺以外の何物でも無い！」とイジられました。が、「俺が変わったのではなく、時代が変わったのだ」と、全く根拠のない言い訳をしていました。

ともかくにも、全国に、様々な人生を過ごしている友人を持つことができたのも、学生時代を早稲田で暮らしたからかなと思います。年収の差はあっても、飲めばみんな同じです。



## 「プッチーニの世界」

岡元 賢



昨年は、オペラを觀賞する機会が56回あった。私の長男がいなければ全く無縁の世界だろうとつくづく思うが、最近 は觀賞するだけでなくオペラの裏側にも 関心を寄せている。プッチーニはイタリアが生んだオペラ界の巨匠だが、19世紀末から20世紀にかけて生きたオペラ全盛期晩年の作曲家である。時代背景的には、第一次世界大戦が勃発し、イタリアではムッソリーニによるファシズム政権が誕生する前夜である。プッチーニの作品として有名なのは、数年前、トリノオリンピックのフィギアスケートで金メダルを獲得した荒川選手が使用したオペラ「トゥーランドット」がある。「今夜は誰も寝てはならぬ」求婚者の名を解き明かすことができなかったら住民は皆死刑とする」とバヴァロッティが歌うアリアはま

だ記憶にあるかと思う。トゥーランドットは古代中国皇帝の一人娘で、絶世なる美女ゆえに「求婚者は寄せ付けぬ」とした謎賭けをする。謎賭けに挑む求婚者は多くいたが、解けた者は誰もいなかった。謎賭けを解き、それを逆手にとり求婚してきたカラフ王子と最後は結ばれるという古代北京を舞台にしたオペラである。プッチーニの作品はワーグナーやヴェルディの激しく跳躍感のある旋律と異なり、口ずさみや美しく美しい旋律が自然と流れて来るのが特徴である。唯一、日本を舞台にしたオペラアリアとして歌われてきた「ある晴れた日に」はマリア・カラスの十八番としても有名である。実話を元に書かれた短編小説「蝶々夫人」をプッチーニがオペラ化したものである。舞台は明治期の長崎、元藩士の令嬢で若くして芸妓となった蝶々夫人とアメリカ海軍士官ピンカートンが織り成す愛の物語である。キリスト教に改宗してまで結婚を果たし、金髪の子供も授かる夫人だが、ピンカートンは任務が終了するとアメリカに一人で帰ってしまう。再び日本に戻ってくると夫を待ちわびて信じてやまない気持ちで夫人は「ある晴れた日に」の中で歌う。しかし、現実の後世

の日本では考えられないような結末となる。ピンカートンはアメリカ人妻を連れて子どもを引き取りにやって来るのである。そのことが領事シャープレスから伝えられると、蝶々夫人は星条旗と日の丸の旗を持たせた自分の子どもを手放して自ら命を絶つ。中国では、「トゥーランドット」は中国蔑視だと公演は禁じられた時期もあったようだが、日本とアメリカの従属関係も「蝶々夫人」からよく伺える。プッチーニは、当時イタリアミラノで公演された興行師「川上音二郎・貞奴一座」の演技を観て影響を受けたと言われている。確かに「蝶々夫人」の中には「さくらさくら」などの日本の名曲があちこちに流れてくる。プッチーニは、当時の欧米社会には見られない「礼節」を重んじる日本や日本人女性の姿をこのオペラに見出そうとしたかも知れない。反面、ハンサムで上品な顔立ちからか、私生活はドンファン症候群の一人であるとも言われている。

緩やかなチャレンジを続けて

北海道札幌南高等学校 立野統子



教育に携わる身として、自分自身も成長し、それを生徒に還元していきたいという思いがあり、年度のはじめに、何かチャレンジすることを決めることにしています。チャレンジといっても、大それたことではなく、できたらしようくらいのものですが、今年度は、授業で外部講師との連携をしたいと思います。10月には、政治経済、倫理の授業の一環として、ゲイの講師の方に来ていただき、LGBTについて考える授業を行います。また、2月には英語科の先生に協力してもらい、元シリア難民だった方にシリアの現状について語ってもらい、生徒に平和について考えてもらう授業を企画中です。標準単位で授業を行なっているため、時間がありませんが、限られた中でも、生徒にいろいろな人に触れる機会を提供し、日常のことや世の中のことを

考えてもらうよう心がけています。札幌南高校に赴任して、12年が経とうとしています。振り返ってみると、同じような繰り返しはなく、変化に富んだ日々でした。赴任当初は、私自身が東京の都立高校出身ということもあり、(自分の経験は、だいぶ昔になりますが、)首都圏の進学校生徒たちと札幌南高校の進学校の生徒たちの違いを感じました。首都圏の生徒たちは小さい頃から塾に通い、勉強に追い込まれ、大学入学時には目的を失っていることも多いのですが、本校の生徒は、勉強以外にも、部活や遊びや、自主的な活動など、いろんなことを行うエネルギーが有り余っている子が多いのです。地方出身の視点を持ち、エネルギーとバイタリティーに溢れた彼らに、将来日本や世界のトップで活躍してもらいたい、と思いました。

近年、そんな本校でも、真面目な生徒が多くなりました。真面目であることが悪いのではないのですが、自分の興味の探究よりも、保護者の意向に沿った道を歩もうと、塾に通うために部活動を制限させられたり、勉強面でも苦しうになつたりしている生徒が増えています。中学校までは校内で10番以内の成績上位者も、高校では勉強についていけず、300番代になってしまうことは当然あります。保護者の方々に、外部模試や校内模試などの偏差値を参考にさせていただくよう説明しても、どうしても順位を気にされることが多いようです。「何番以内に入らなかつたら部活をやめろ！」と保護者から言われ、部活動を辞めさせられることも少なくありません。怒られても、たくましく、自分の好きなことを見つけて、自分の道を探ることができればいいのですが、プライドが高くて傷つきやすく、現実を受け入れられない生徒が増えてきています。

医学部や東大に入らなければいけないと思ひ込み、その受験勉強の壁にあたったときに、それを超えなければ全て終わりだと思ってしまうのは本当にもったいないことです。それぞれの生徒に合った道があるはずです。それを見つげるためにも、本を読み、直接的な体験を増やし、また日常の人間関係の中から多くを学んでほしいと思っています。そういった経験の積み重ねが、卒業した先に広がる世界に物怖じすることなく、それぞれが自分らしさを発揮する力につながれば、と思っています。高校で教えられることは

限られていますが、生徒のために何ができるか考え続け、私自身も努力していいと思います。

近況報告（返信葉書・メールより・敬称略）

### 足利 啓朗

新年を迎え、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。当日は仕事の関係で、欠席させていただきます。ご盛会を祈ります。

### 阿部 穰

念ながら、地元での所用があり、欠席します。ご無沙汰しており申し訳ありません。来年度の閉校を控え、何かとあわただしく過ごしております。

### 阿部 大洋

お仕事お疲れ様です。念願の退職を来年3月31日迎える事となりました。早く楽になりたいという気持ちで一杯であります。

### 荒井 到

高齢者、大学、社会学級等のお仕事をいただきますと会場は学校ということが良くなります。学校は地域の中心なんだなあとつくづく感じる次第です。

### 伊藤 芳明

盛会をご祈念申し上げます

### 岩田 一郎

十勝、オホーツク、釧路と道東11年。冬の青空は当たり前のものになりました。朝の寒さも格別ですが：会員諸氏のご健勝と1月10日の盛会を祈念いたします。

### 大久保 克洋

いつもご案内いただきありがとうございます。暴飲暴食に気をつけながら楽しくやっております。

### 大塚 誠之助

歳の割には元気で過ごしております。私のふるさと北方領土の元島民は終戦時に1万7千人余りおりましたから、現在の生存者は64人余りで、平均年齢も私と同じ82歳になってしまいました。この1年間、領土問題はまったく進展しませんでした。私たちが諦めるわけにはいきません。北方領土返還の実現は、決して元島民や北方領土に隣接する地域住民だけに関わる問題ではなく、わが国の主権と国益に関わる問題であります。

趣味で続けている自家菜園では、国後島で自生していたハスカップを40本程栽培しており、今年は実の付きが良く、

30kg程の収穫がありました。

稲門教育界の皆様のご健勝とご活躍を祈ります。

### 大場 宏

稲門教育会の益々の繁栄と会友皆様のご活躍を祈念申し上げます。

### 大東 俊郎（9代会長）

昨年は、丹精込めて育ててきた庭のバラが、野兎の被害に遭い落胆しましたが、例年通り、あちこちで日本思想史を話しています。春、クラス会で上京、お壕の桜を眺めながら、早稲田の旧友たちと、久方振りに歓談してきました。

### 大屋敷 全

今春、札幌東陵高校に移動になりました。

### 加藤 剛

会のご盛況と会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 吉瀬 献策

事務局業務大変お疲れ様です。当日、来年度から自分が会長に就任する「高書研」の会合に出なければならなくなりました。皆様にどうぞよろしくお伝えください。

### 佐藤 敏行

私は定年退職後、平成28年度から再

任用で道南の七飯高校に勤務しております。

現任校は本年度末までとなっており、新年度も再任用を継続したいと思っております。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

### 佐藤 佳明

相変わらず忙しい日々です。ボラ、古典サークル、カラオケ、山登りそして、50坪程の農作業、今年は四国八十八カ所のバス遍路に行ってきました。楽しくも尊い旅でした。さて、30年は？似たような毎日でしょう。昨年も書いたと思うのですが、もはやこの地から峠を越えるの移動はせず、従って申し訳ありませんが、貴会を退会いたします。皆様によろしく。

### 篠崎 雅之

厳しい北海道の冬。ニュースを見るたびに、北の暮らしの厳しさを思い、同時に懐かしくも羨ましくも思います。年末「探偵はBARにいる・3」を見ながら、冬の札幌を楽しみました。皆様良いお年を。

### 武部 文吉

ことさらお知らせするほどの変事もなく、平穏な毎日を過ごしております。会員諸氏のご健勝とご活躍を祈っております。

### 竹本 義明

体調の関係でどうしても出席できません。ご容赦ください。いつまでも、いつまでも早稲田マン合は元気いっぱいありますように衷心より祈念してやみません。心身の健康が一番大切です。皆様ご自愛第一にお過ごしください。稲門教育会のご盛況ご発展をいつも祈念してやみません。乱筆乱文ご寛容ください。

### 田村 潤

担任団に恵まれ、3学年主任としてどうかここまですました。生徒たちには帯広緑陽を卒業して良かったと思えるように過ごさせたいです。野球は部員10名で新人戦に出場しました。人数は少ないですが、ここが試練と思い、選手たちと前進していきます。今年1年よろしくお願ひします

### 千葉 浩次

せっかくご案内いただきましたのに出席できず大変申し訳ありません。ご盛会を祈念申し上げます。

### 手塚 要助

今年は(B.C18)昭和93年、小生米寿を迎えます。退職後28年、正に須臾の感。身体老化、精神健全？皆さんの益々のご健勝を祈念しております。

### 永田 政允

元気です。まだ色々挑戦中です。城(隠し部屋)も出来、心の写経を繰り返しています。只々皆様のご活躍を願っています。

### 中塚 信義

久しぶりに皆さんと共に、校歌を歌えるのを楽しみにしています。

### 成田 智子

いつもご案内いただきながら出席できず申し訳ありません。ご盛会をお祈り申し上げます。

### 野村 耕介

ようやく1期生の卒業ですが、IBスクールとしてはこれからです。

### 原山 勉(10代会長)

「学校(スクール)という意味は、ギリシャ語のスコレ(暇)から来ている。」と熱っぽく語っていた大学時代指導を受けた教授の言葉が忘れられない。聞くところによると現在の学校は教師も生徒も超多忙で余裕はないという。これはもう学校ではない。教育の危機を迎え入れて

いるのではあるまいか。気になって仕方がないが。

#### 平田 裕一

お陰様で、まだ創成高校で現役を継続中です。孫娘が入学してくるのでもう少しやろうと思います。

#### 福川 和彦

北海道にて採用になり、俗に言う「新4」が経とうとしております。

授業においては、少しですが自分なりの色を滲ませる術を身につけてきました。部活動指導においても、野球の夏の支部予選において公式戦初勝利を達成することができました。

次は、入学から卒業までにおいて若者を育む職責を果たせたらと思っております。

#### 福田 誠行

北海道稲門教育会の益々のご発展を祈念しております。北海道の教育の為に頑張ってください。

#### 福田 敏憲

今年度から主幹教諭として勤務しております。隣の芽室高校には増田教頭、釧路には前校長の橋本校長がいて下さり、心強い限りです。これからも頑張ります。

ので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

#### 星 充弘

3年前から再任用で教壇に立っています。

#### 前川 洋(16代会長)

いよいよ退職です。皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。本会の益々のご発展を祈念します。

#### 増田 雅彦

あけましておめでとうございます。千歳高校は国際交流を積極的に行っており、前任の名寄産業高校で経験した台湾訪問など、そのまま千歳高校の台湾見学旅行で生かされています。今年度も台湾、韓国、カナダ、アメリカとの交流を行うとともに、2名のALITの常駐、中国語、韓国語の講師を配置など、国際教育の充実に努めています。近々、NHKで国際流通科の地域の企業との連携で商品開発の取組が放映されます。名寄産業高校同様、地域との結びつきがとて強い学校でもあるのです。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

#### 増田 康広

後志留寿都から十勝芽室に移動しました。2年間の留寿都生活では、農業と福

祉という2つの専門科を持つ高校で、子どもたちが地域課題に向き合い、地域の教育資源を活用しながら学んでゆく姿に触れることができました。

新天地の芽室では、町の総合計画策定に高校生の意見を盛り込むこととなり、学校の教育活動が地域活性化に少しでも貢献できるよう後押しをしています。

#### 松田 豊満

昨年5月、卒業60周年のクラス会で大学に行ってきました。

#### 武藤 恵美

お手伝いできず、申し訳ありません。

#### 森 修一

河合塾津田沼校で教務での仕事を続けています。例年、津田沼校単独で早稲田に130名前後の合格者を出しており喜んでおります。後輩の皆様の益々のご活躍を祈念いたしています。

#### 森 浩之

残念ながら、欠席させていただきます。いつものことながら、体長会と重なっており、今年度は、そちらの幹事なので、失礼させていただきます。

## 吉澤 税

長万部勤務2年目、初心を忘れず努力を続けていきたいと思えます。

## 吉澤 正伸

出席できず残念です。当日は授業初日のため(まだなんとか働いています)都合がつきませんでした。皆様によりしくお伝えください。

## 吉能 康博

小樽で32年間、江別で6年間、38年間の私学人としての生活が、この3月で終了しです。春4月からは未定ですが、好きな剣道を7段目さして頑張ります。

## 和角 一

新年おめでとうございます。北海道稲門教育会の益々のご発展とご参会の諸先生のご健勝、ご活躍を祈念いたします。私は平成5年に友邦高校を定年退職、道都大学に勤務、平成28年3月82歳で退職。お陰様で、今のところ元気です。

## 中村 正道

元早大事務職員中村でございます。ご案内ありがとうございます。大学を退職して3年半が経ちましたが、おかげさまで元気しております。1月10日はあいにく所用にて欠席いたします。ご盛会をお祈りしております。

事務局より

\*移動・退職の際には、事務局までご連絡ください。

●ホームページをご利用ください。

<http://tomonkyoikukai.web.fc2.com/>

こちらのURLで早稲田情報の紹介、校友同士の情報交換等を行っていきたいと思えますので、是非ご利用ください。注意点がいくつかございます。

○ブログではありませんので、スクリーンネットを通して閲覧できますが、無料のホームページアカウントということもあり、検索エンジンに引っかけられないようです(理由はわかりませんが)。御手数ですが、右のアドレスを直接打ち込んで、ブックマーク登録をしてご利用ください。

○無料のホームページの制約として1メガバイト以上の写真や書類を貼り付けることができません。ものによっては不鮮明な場合もあるかと思いますが御容赦ください。

問い合わせ、ご要望、転勤による連絡先の変更等ありましたら、左のアドレスに

メールあるいは白石高校の方にお電話いただければ幸いです。

[i.akira43@gmail.com](mailto:i.akira43@gmail.com)

